演習編　10　河川敷でのバーベキュー有料化社会実験

　市の市民会議において、バーベキュー（ＢＢＱ）有料化の社会実験についての議論がなされた。この社会実験は、今年で三年目となる。過去の利用状況に対する問題点の把握と、運営状況の検証等が行われた。これらに関する【資料１～４】を読んで、後の問いに答えよ。

【資料１】社会実験の概要文書・資料（崎ノ木市市民会議資料）

**崎ノ木川河川敷緑地でのＢＢＱ社会実験の経過報告**

**古満（こま）橋周辺の河川敷緑地内でのバーベキュー有料化、およびそれ以外の区域でのバーベキュー禁止の社会実験について（４年間実施予定）**

概要：崎ノ木川河川敷は自然豊かで市民の憩いの空間であるが、一部の利用者によるゴミの放置やにおい、騒音、違法駐車がなくならず、周辺住民及び公園利用者への多大な迷惑となっている。一方で、バーベキューは、近年のレジャー志向の高まりや安価なアウトドア用品の普及により、手軽に行えるレジャーとして市民に定着していることから、これらの市民ニーズにも対応することが求められている。

　　以上より、崎ノ木川古満橋周辺の河川敷緑地の適正利用に向けたバーベキュー利用のあり方を検証することとなった。この社会実験では、実施事業者の協力を得ながら、バーベキュー禁止の影響や、バーベキュー可能区域の運営に関する問題点把握、実施状況の検証等を行うものである。

|  |  |
| --- | --- |
| 日　時 | ３年目　5月２８日～7月２４日　8：30～18：30 |
| 場　所 | 崎ノ木川古満橋周辺河川敷緑地 |
| 内　容 | 利用者（中学生以上）から清掃協力金として800円を、駐車場代として１台1000円を徴収し、ゴミ回収や清掃、警備など周辺の改善を行う。 |

○利用日の4日前まで、インターネット及び電話での予約を受け付ける。申し込み状況によっては、当日の利用枠も設ける。

○１グループ3名以上とする。

○支払い方法は振り込みによる前払いとする。

○受付後、利用者である印としてバンダナを配布し、着用を義務づける。

○無料でゴミ袋を配る。利用後はゴミ分別の上、回収場所に出すよう指示する。

○橋下は火気厳禁。たき火、直火は禁止。

○今年度より、使用後の炭の放置を禁止。

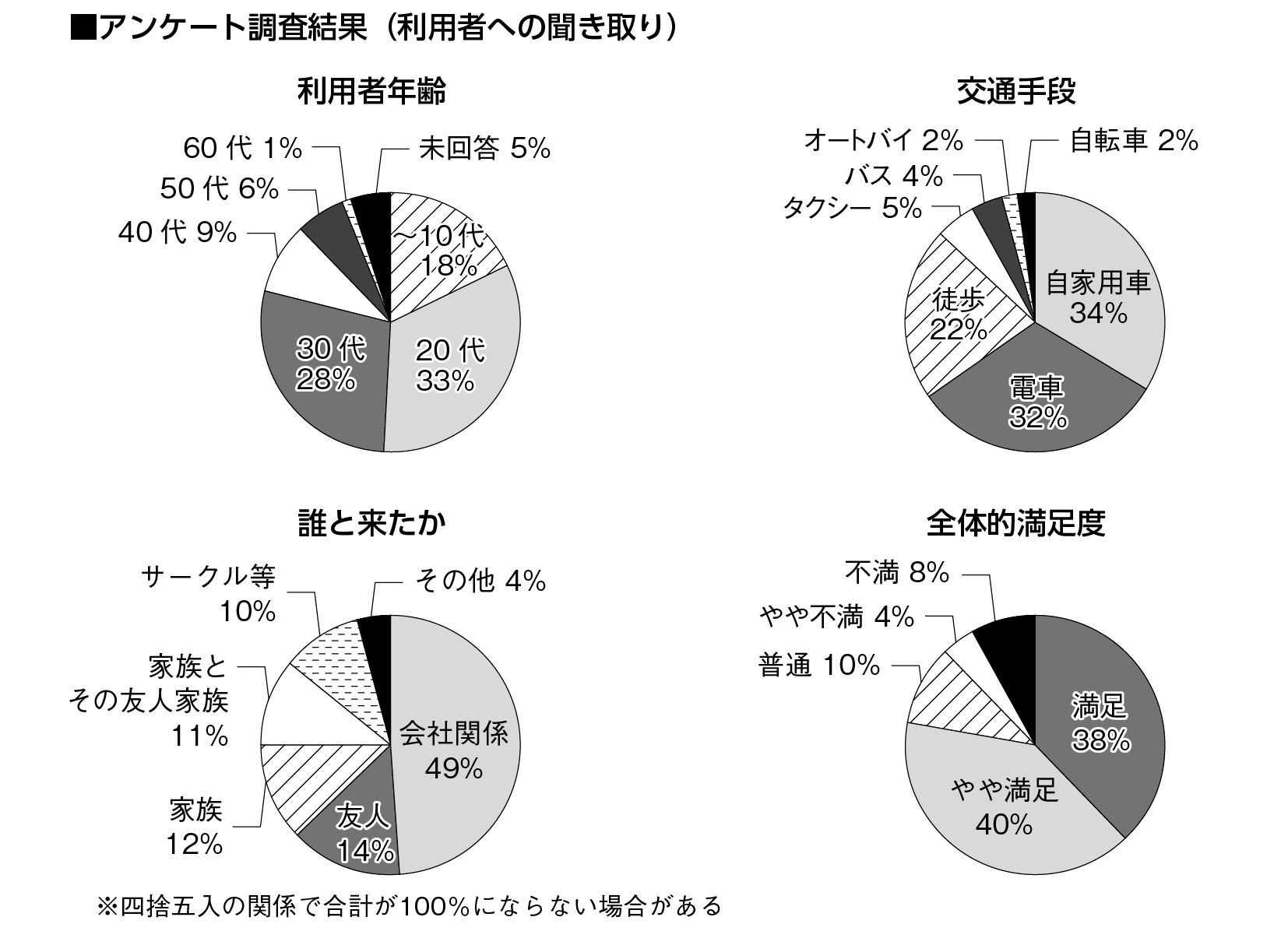
○食べ残し、食べかすはカラスの標的になることを周知し、ゴミ袋に入れるよう注意喚起する。

（以下略）

**〔7/9〜7/24利用者数〕　552名・68組（平日平均：約29名、休日平均：約39名）**

利用者の多くは家族、学校や職場関係の友人・知人が集まった団体で、年齢層は20代、30代が中心となっていた。

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 合計 |
| ９ | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 |
| 5 | 32 | 33 | 46 | 78 | 5 | 29 | 0 | 11 | 17 | 0 | 26 | 35 | 22 | 88 | 95 | 522人 |

問１　【資料１】について述べられた次の意見のうち、【資料１】を根拠としたものとして適当でないものを一つ選び、記号で答えよ。４点

ア　古満橋周辺で行われたバーベキュー有料化の社会実験は、自家用車で来場する人々の割合が約三割であることを明らかにした。臨時のバスなどを運行し周知することで、騒音や違法駐車を減らし周辺地域でのトラブル解消につながるだろう。

イ　バーベキュー会場において、所定の受付を済ませているかどうかを見極めることが難しいと考えていたが、バンダナをつけることが義務化されているので、違反者に対する声がけや利用説明をしやすくなっていることが期待でき素晴らしい。

ウ　利用に関する要望や改善について、特に利用料金、利用時間について何らかの対応が必要なことがグラフから読み取れる。このような課題を浮き彫りにすることもまた、社会実験の大切な役割であることが確認できた。

エ　利用者を年代別に見ると、二〇代を中心に比較的若い世代が多数であることがわかった。ここから、バーベキュー利用を継続する場合、若い世代を対象に河川敷利用の問題点を周知し、その改善を促すことが必要であることがわかる。

オ　バーベキュー利用後の食べ残しや食べかすの処理方法はおおむね理解できるが、使用後の炭の処理の仕方が明確ではない。受付場所における利用後の清掃確認の方法など、細かな資料や伝達事項が把握できるような報告であるほうがよい。

カ　利用者が、１００人近くになる日がある一方で、０人の日もある。ただ、０人の日の経費は一見無駄に思えるが、社会実験において大切なのは、利用の促進ではなく事実の確認であるため、この経費を必要以上に問題視すべきではない。

［　　　　］

問２　問１で選んだ不適当な選択肢について、以下の問いに答えよ。

（ⅰ）　どのような点が不適当なのか、60字以内で説明せよ。８点

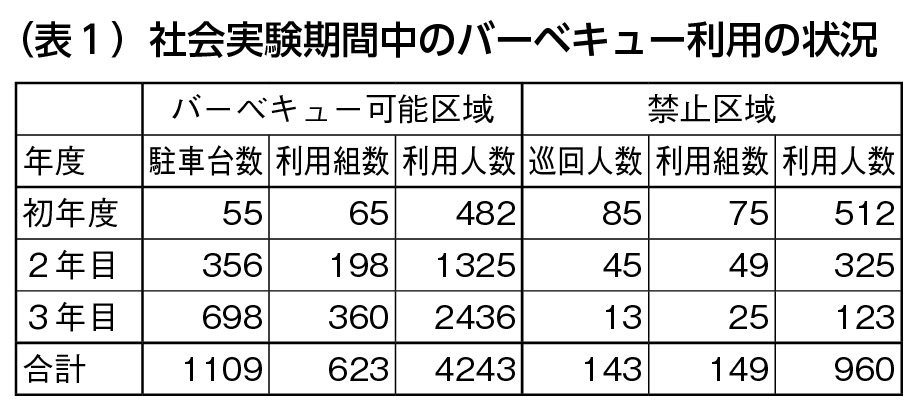
［

］

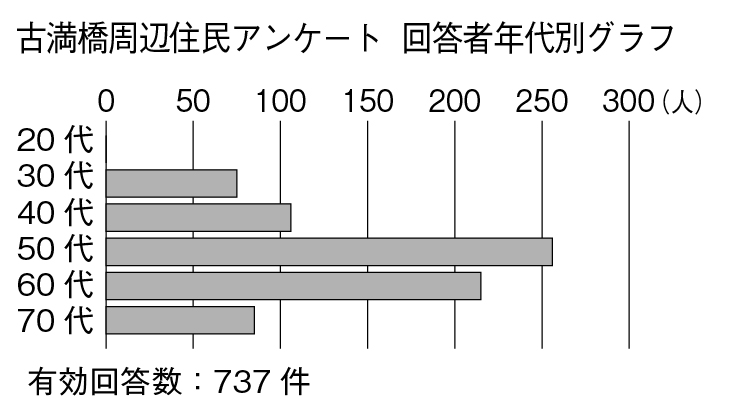
（ⅱ）　この選択肢の意見が正当なものになるには、資料にどのような内容を追加すればよいか、50字以内で説明せよ。８点

［

］







⑴バーベキュー可能区域の利用状況（表１）

・利用者数は年々増加

・禁止区域でのバーベキュー利用者は年々減少

⑵運営体制整備の収支の状況（表２）

・全ての年度で支出超過

・原因は、安全確保のための設備の拡充、人員配置

⑶今後の方向性

・適切な環境改善がなされているかの確認

・機材レンタル実施による、レンタルサービスの収入増を図る

・公共交通機関利用を促し、違法な路上駐車の削減を図る

・次年度の結果を受けて、全面禁止や部分的容認など一定の結論を出す

【資料３】古満橋周辺住民アンケートの結果

【資料２】３年間の社会実験における利用・運営状況と今後の方向性について

・可能区域周辺では100％の住民が、期間中に可能区域を利用したことがないと回答

・社会実験の結果、禁止区域周辺の約81％の住民が、「ゴミの投棄」「におい」「騒音・話し声」「違法駐車」などに悪影響が見られたと回答

・引き続き可能区域を設定することについて、「賛成」が約12％、「反対」が約78％

問３　【資料１～３】について話し合っている次の会話文を読み、空欄［　Ｘ　］・［　Ｙ　］に当てはまる内容を、後の⑴⑵を満たすようにそれぞれ指定字数内で考えて書け。各６点×２

ヒトシ　バーベキューの社会実験では色々な課題が浮き彫りになっているようだね。

アサミ　もっと市民に広く周知してほしいよ。

ヒトシ　市が主体となって機材レンタルのサービスを拡充すると、運営側の収入が増えるから、［　Ｘ（30字）　］。これは市の社会実験の運営上良いことだよ。早く進めるべきだ。

アサミ　でも、レンタルが拡充して気軽にバーベキューができるようになると、［　Ｙ（40字）　］ことになって、結果として周辺住民とのトラブルが増える可能性もあるよ。全面禁止も考える必要があるよ。

⑴ 　解答の文体は会話体にしないこと。

⑵　【資料１～３】に基づき解答を作成すること。

Ｘ

［　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　］

Ｙ

［

］

【資料４】

　一定金額を自主的に回収ボックスに納めればコーヒーを自由に飲むことのできるシステムが、日本の職場でもよく見られます。これはコーヒーやミルク代の自主的な提供によって成り立っているので、ただ乗りをする者がグループにがれば崩壊してしまいます。一方、わざわざ代金回収のために見張りを立てておくのは、コストが大きすぎてまったく非現実的なやり方です。

　動物行動学者のベイトソンらは、この社会的ジレンマが、人の目の写真をコーヒールームに貼っておくだけの極めて単純なやり方でほぼ解消できることを示しました。実験では、コーヒールームに貼る写真を、人の目の週、きれいな花の週のように、一週ごとに変化させ、人々の行動がどのように影響されるかを検討しました。

　さて結果は、代金の回収率はコーヒールームに花の写真を貼った週と比べ、目の写真を貼った週で大幅に改善されるというもので、目の写真の週での回収率は、花の週の数倍になりました。とくに「怖い目」の週には、著しい回収効果が観察されました。

　このことは、「誰かに見られているかもしれない」、「規範を破ると評判が下がったり、罰を受けるかもしれない」（罰ははったりでない）と案じる私たちの敏感な心の動きが、社会規範からの逸脱を未然に防いでいる可能性を示しています。

（亀田達也『モラルの起源―実験社会科学からの問い』より）

問４　【資料４】の傍線部「この社会的ジレンマ」とはどのようなことか。「ただ乗り」「見張り」「コスト」という言葉を用いて、50字以内で説明せよ。

８点

［

］

問５　【資料１～３】において見られた問題点を解決する考えが【資料４】には存在する。それはどのような考えか。【資料１～３】の具体的な内容に触れて、50字以上75字以内で説明せよ。10点

［

］

《解答・採点基準・自己採点表》

問１　ウ　４点

問２　（ⅰ）　Ａ八割程度の利用者が全体として「満足」「やや満足」であり、Ｂ利用料金や利用時間へのＣ要望や改善が求められている根拠がない点。（59字）８点

基準　Ａ＝２点〔「不満、やや不満を合わせても十二％しかない」という内容でも可〕

Ｂ＝３点／Ｃ＝３点

（ⅱ）　Ａ社会実験への要望や改善点、Ｂ特に利用料金や利用時間についての意見をＣ利用者から聞き取りまとめた内容。（48字）８点

基準　Ａ＝２点／Ｂ＝３点／Ｃ＝３点

Ｃがなければ全体０点。

問３　Ｘ＝Ａ設備拡充や人員配置によるＢ運営体制整備の支出超過が改善できる

（29字）６点

基準　Ａ＝２点／Ｂ＝４点〔運営の収支改善が指摘できていれば可〕

Ｂの内容がなければ全体０点。会話体であれば、減点２。

Ｙ＝Ａ利用者が今まで以上に増え、Ｂゴミやにおい、騒音、違法駐車の  
Ｃ問題がかえって深刻化する（40字）６点

基準　Ａ＝１点〔利用者が増加する内容であれば可〕

Ｂ＝３点〔４つの問題がっていなければ減点２〕

Ｃ＝２点〔今ある問題の改善が見込めない、という内容であれば可〕

Ａ・Ｃの内容がなければ全体０点。会話体であれば、減点２。

問４　Ａただ乗りを防ぎたいが、ＢコストがかかるためＣ見張りは立てられず、Ｄ見過ごすしかないということ。（44字）８点

基準　Ａ＝２点／Ｂ＝３点／Ｃ＝１点／Ｄ＝２点

「ただ乗り」「コスト」「見張り」という言葉がなければ全体０点。

問５

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **正**  **答**  **例** | ②ゴミ、におい、騒音、違法駐車の問題を減らすには、③誰かに見られているという意識を利用者に持たせ、④社会規範からの逸脱を未然に防ぐことが有効だという考え。（①74字） | | |
| **正**  **答**  **の**  **条**  **件** | 正答の条件は次の４つとする。 | | **チェック欄** |
| ①50字以上75字以内で書かれていること。 | |  |
| ②【資料１～３】の４つの問題（ゴミ・におい・騒音・違法駐車）について書かれていること。 | |  |
| ③【資料４】の「誰かに見られている」という点を問題解決に転用できるということが書かれていること。 | |  |
| ④ ③の要素が「社会規範からの逸脱を防ぐこと」につながると書かれていること。 | |  |
| **解**  **答**  **類**  **型** | ａ | 条件①～④のすべてを満たしている解答 | 10点 |
| ｂ | 条件①③④を満たし、②の問題のうち１つ以上に具体的に触れている、または「住民のトラブル」と概括している解答 | 8点 |
| ｃ | 条件①②③を満たしている解答（④は満たしていない） | 6点 |
| ｄ | 条件①③を満たし、②の問題のうち１つ以上に具体的に触れている、または「住民のトラブル」と概括している解答（④は満たしていない） | 4点 |
| ｅ | 上記以外の解答／無解答 | 0点 |